

朝日丘地域会議での協議内容・その他意見

1 総合計画全般に関する意見

- ・総合計画に豊田市らしさ、豊田市ならではの独創性があれば、より市民が一丸となって実現したくなるものになると思う。
- ・総合計画は抽象的で非常に難しいため、具体例を提示しながらの説明など、市民に伝わりやすい方法を検討し、周知してほしい。
- ・各地域の状況を落とし込んだ資料があれば、市民に受け入れられやすいと思う。

2 総合計画を基に実施される個別事業に関する意見

- ・人と自然のつながりを継承することをめざすにあたっては、豊田市にどのような自然がどの地域にあるのか明示してほしい。
- ・第8次豊田市総合計画の「重点施策1 超高齢社会への適応」は、第9次豊田市総合計画にも継続して記載すべきと考える。
- ・放課後児童クラブや中学生の部活動指導など、時代は地域移行の流れであるが、引き続き行政が監督、サポートを行ったうえで、その業務を得意とする多様な主体が実施していけると思う。
- ・行政が地域に依頼している様々な業務（ごみステーション・民生児童委員・災害時の避難など）を超高齢社会の中で継続するためには、地域の人頼みではなく、行政が仕組みづくりをする必要があると思う。
- ・朝日丘地域の中には、浸水被害が想定される部分がある。全国各地で頻発する豪雨災害、内水氾濫に鑑み、防災インフラの更なる強化が望まれる。
- ・豊田市の都市周辺の公共交通機関の不便さ解消と、クルマの町の強みを生かすため、自動運転バス等の次世代の公共交通機関を整備してほしい。
- ・地域のつながり強化のための事業を担っている自治区に対し、行政からの支援を強化してほしい。具体的には、自治区業務のデジタル化と担い手育成にかかる費用を補助してほしい。